

総合安全保障研究科第11期学生

選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

問1 経済制裁の有効性を左右する要因を三つ指摘し、その根拠を説明せよ。

問2 予防外交 (preventive diplomacy) 概念に関して、その誕生の経緯と意義、冷戦後の議論の展開について論じよ。

総合安全保障研究科第11期学生
選抜筆記試験問題

国際政治史

次の2問に答えよ。

問1 第二次世界大戦後の欧州を舞台とした米ソ二極対立はどのように開始されたか、政治的次元、経済的次元、軍事的次元に分けて説明しなさい。

問2 ニクソン・ドクトリン（グアム・ドクトリン）の内容と、同ドクトリンがアジア及び中東地域に与えた影響について述べよ。

総合安全保障研究科第11期学生
選抜筆記試験問題

公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 「公共財の中立命題（ウォーの定理）」について説明せよ。

問2 非対称情報下の市場では、どのような問題が起こり得るか。その概要を説明せよ。

総合安全保障研究科第11期学生

選抜筆記試験問題

憲 法

次の2問に答えよ。

- 問1 自衛隊（自衛軍）最高指揮権の憲法上の根拠について、これを①現行法（自衛隊法第7条）の通説的解釈のように憲法第72条の一般的「行政各部指揮監督権」に読み込む場合と②改憲により独立の規定として新たに定める場合とで、どのような法的効果の相違が生じ得るか、考えるところを述べなさい。
- 問2 日本国憲法は、自衛隊の国際平和協力活動のあり方にどのような法的制約を課しているか。①憲法9条に関する日本国の政府見解を整理しながら説明しつつ、②そのような法的制約が現在の安全保障立法（PKO 協力法、イラク復興人道支援法等）にどのように反映されているか、なるべく具体的に論ぜよ。

総合安全保障研究科第11期学生
選抜筆記試験問題

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 19世紀半ばから20世紀半ばまでの時期における「国際社会の組織化」について論じなさい。論述に当たっては、「国際行政連合」、「拒否権」の2語を必ず用いること。

問2 国際司法裁判所規程の選択条項(任意条項)について論じなさい。

総合安全保障研究科第11期学生

選抜筆記試験問題

組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 組織において、創造性（新たな可能性を探索すること）と効率性（同様の手順を繰り返すことによって熟練度を高めること）のバランスをどのようにマネジメントすべきか、「不確実性」と「組織学習」をキーワードとして論述しなさい。

解答にあたっては、関連する組織理論・学説や具体例を豊富に盛り込み、主張の根拠・理由を明確に述べること。

問2 いわゆる単年度予算、予算の単年度主義について、組織管理上のメリットとデメリットを整理して論述せよ。

総合安全保障研究科第11期学生
選抜筆記試験問題

行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 予算制度の機能とは何か。また、日本の予算編成過程の特徴について述べよ。

問2 官僚制の逆機能について、2つ以上の具体例を用いて論述せよ。